

創立76周年
令和8年度9月号



咲かせよう大正の花 つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園
HP: <https://www.taito.ed.jp/1380011>



体験の大切さ

園長 北村 恵

この夏、日本だけでなく海外でも、地震や洪水などの様々な自然災害が起きました。「今まで経験したことのないような事態」という言葉をニュースで何回聞いたかわかりません。地球温暖化の影響も大きく関わっているようですが、この災害問題を解決するにはまだまだ時間がかかりそうです。AIが今よりももっといろんなことを算出してくれるようになったら、解決策は見付かるのでしょうか。

今、ものすごい速度で生成AIが発達し、生活の一部となりつつあります。幼稚園の子供たちが働くようになる頃には、AIやロボットがあって当たり前の世界になっていると思いますが、その中で人間にしかできないことは何なのだろうかと、最近よく考えます。

先日、筑波大学教授の落合陽一氏が幼児教育関連の研修会で講演会を行った内容を聞く機会がありました。その中で、「人間よりも深く考えることも大量に覚えることも得意なAIですが、人間にとってはとても簡単なことが一番苦手です。それは普通に寝て、ご飯を食べて、味わったり、臭いをかいだり、五感を使って体験したりすることです」という話があり、確かにそうだなあと思いました。だからこそ、幼児期に知識だけを貯めるのではなく、実際に身体や手を使ってたくさんの経験をする必要があるのだと言われていました。

「知識を蓄える高等教育は結局のところAIには勝てないので、大学はそのうち必要なくなってしまう可能性がある。しかし、実体験を積み重ねられる幼児教育はむしろ重要で残していくべきもの」「AIをさぼるために使う人はAI任せでどんどん物を考えなくなる。でもAIを自分の探求や研究、工夫のために使う人はどんどん頭を使うようになるので、ゆくゆく人類は二極化する」とも言われていました。この講演を通して、幼児期に諸感覚を働かせて様々な体験をする必要性や、試したり工夫したり試行錯誤する楽しさを実感として知っておく重要性を改めて感じることができました。

2学期も、幼稚園では運動会や生活発表会、遠足など様々な行事があります。その中で子供たちに体験してほしいこと、感じて欲しいことをねらいとしながら、実際に体験できたこと、感じている気持ちを見取り、一人一人に応じた援助をしていきたいと思っています。夏季休業中もきつとご家庭で様々な体験をされたことと思います。そんな話を子供たちから聞くことも楽しみにしています。

2学期も幼稚園の教育保育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。